

みなさんこんにちは、校長の望月敏行です。

「富士ニュース」(5月10日版)に私の紹介が出ていました。しかも割と大き目の写真付きで。ご覧になった人もいたかもしれません。実物はもう少しイケメンだと思っ
ていましたが…。(真実を写すと書いて「写真」！ 残念…。)

さて、休校が延長されなかったとして、5月7日に学校が再開された場合に、集会で話したかったことを伝えたいと思います。

(ここから、その原稿となります。)

4月7日の始業式でONE PIECEの話をしたことを覚えていますか？

「仲間を思う気持ちと仲間を大切にする」という物語に隠されたテーマから、今年度の重点目標「共に育ち合う子」に関連付けて話しました。

「またか」と思うかもしれませんが、ONE PIECEの中で、心に残っている場面について話したいと思います。興味がない子も我慢して聞いてください。

今日の話は、海賊麦わらの一味が旅の途中で、海軍の強敵から逃れるためにバラバラになるシーンからです。主人公ルフィはその後、兄のエースを助けるために海軍との大きな戦い(頂上戦争)に、他の海賊団(白髭海賊団という強い海賊)と共に参加します。

しかし、その戦いで兄のエースを失った(亡くした)ルフィは、身体と心に深い傷を負います。とても立ち直りが難しい状況であり自分を見失いそうになったとき、バラバラになった仲間の存在を思い出したのです。

「(たくさんのを失ったけど、俺には…)仲間がいるよ!!!!」(涙を流して叫んだルフィの台詞)

そこでルフィは、仲間と3日後に再開する約束を、2年後に延ばすメッセージを新聞を利用して伝えました。なぜかという、自分がもっと強くなれないと仲間を守れないと思ったからです。

そのメッセージを受け取った麦わらの一味も、2年間それぞれが置かれた環境のもとで修業を重ね、一人一人がパワーアップし、特殊な能力を身に付け、2年後の再開を迎えました。

その結果、それぞれがたくましく成長した麦わらの一味は、より強い海賊となつて、その後の旅を続けるのでした。(今はワノ国編ですね。)

みなさんもこの休校期間に、クラスの仲間と離れ離れになり、それぞれの家庭環境のもとで家庭学習に励み自分を磨いたはず。学校から出された課題以外にも自分で決めた課題に取り組んだ人もいられるかもしれません。一人でできる運動を続けた人もいます。家族のためにお手伝いを頑張った人もいます。

みなさんは、学校に来なくても自分で学習を進め、コロナから身を守る生活ができたのです。その結果、みなさんは、休み前よりも確実にパワーアップしているはず。す。

これからは、再び「仲間」と一緒に学び合うことで、お互いをより高め合ってほしいと願っています。それが、今年度の重点目標「共に育ち合う子」の姿です。
以上。

さて、学校の再開が少しずつ近づいてきました。

学校の再開によって、仲間との再会となります。

だけどその前に、心の準備は「さぁいいかい！」

令和2年5月15日 吉永第二小学校長 望月D敏行